

2023 年 2月 17日

J A 広島総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	閉塞性動脈硬化症、重症下肢虚血患者に対する遠位バイパスの成績にグラフトの径は関与するの か？
倫理委員会承認番号	No. 22-69
研究の対象	2009年4月から2022年1月まで当院で閉塞性動脈硬化症、重症下肢虚血に対して下腿ま たは足部にバイパス術を施行した296例（374肢）を後方視的に調査します。
研究目的・方法	近年の欧米の研究で、下肢が壊疽になる重症下肢虚血に対する、治療法として、バイパスに使用 できる良質な大伏在静脈（静脈径が3mm以上あり、かつ静脈同士をつなぎ合わせることなく1本 で使用できる長さが使用可能）が存在する場合、血管内治療と比較してバイパスの成績は良好で ある可能性が示されました。しかしながらこの検討患者にアジア人種は約1%程度しか含まれて いませんでした。アジア系人種は一般に体型が小さく、静脈径も細いです。上記、欧米での研究 結果を本邦に当てはめられるのかはまだ検討段階です。今回当院の症例を振り返り、重症下肢虚血 に対するバイパス術の遠隔期成績に静脈グラフトの質（径や長さ）が関与するのか検討いたしま す。
研究に用いる 試料・情報の種類	術前または治療開始前の状態、基礎疾患、手術内容、術後経過、遠隔期成績などを診療録、検査 データ、画像データの記録を参考に調査致します。従って、患者さんに新たなご負担をおかけす ることはありません。
外部への 試料・情報の提供	JA広島総合病院心臓血管外科にてデータの集計を行います。このため外部への情報提供は行いま せん。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。 また、研究成果は論文発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用い たしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ( )
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 心臓血管外科 研究責任者： 小林平 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	